

取組の概要

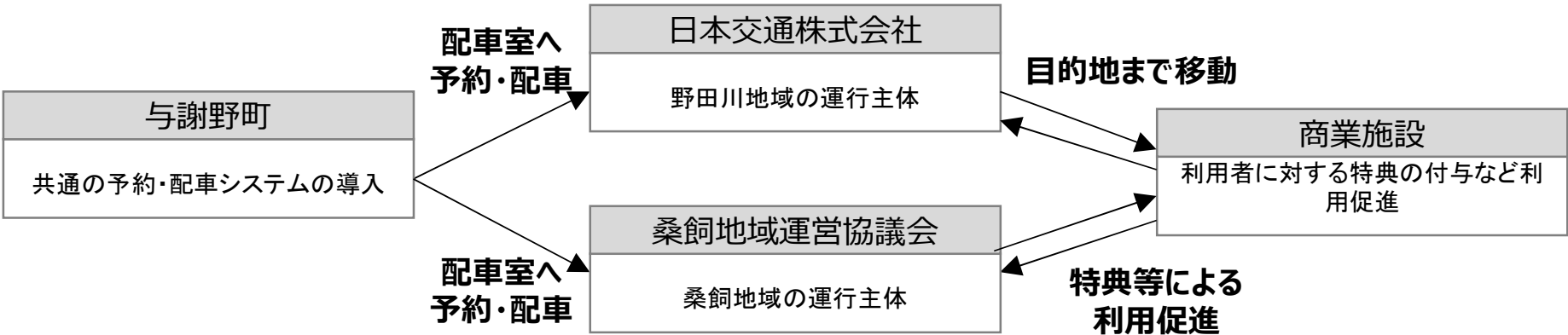
(現状の地域課題と事業目的)

・少子高齢化・過疎化に伴うまちの賑わい創出・住民の健康増進等の課題があり、本事業は共創によるおでかけ環境の整備により外出機会の増加に繋げることを目的とする。また、交通事業者の運転手不足・行政の財政負担増加等の課題に対して、輸送需要に応じた効率的な運行を目指すとともに、共通予約・配車システムの構築により地域全体で効率的な仕組みを構築し課題解決を図る。

(事業の概要)

「買い物」に重点を置いた「おでかけ環境」を整備することとしており、行政・交通事業者・地域住民の連携による新たな旅客運送サービスの実証運行の実施、商業施設と連携した旅客運送サービスの利用特典付与などを実施する。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

（実証事業の内容）

行政が主体となり予約型乗合交通に係る予約・配車システムを構築し、タクシー事業者と地域が共通したシステムを活用して運行。予約型乗合交通・コミュニティバスと幹線バスがスムーズに乗り継いで移動ができるよう、一体となったネットワークを構築。商業施設（加悦谷ショッピングプラザウイル、株式会社にしがき、株式会社さとう）と商工会、くすぐるカード会との連携により、旅客運送サービスの利用者へ買い物特典を付与して「おでかけ」を促し、まちの賑わい創出・住民の健康増進等に繋げる。

【実証運行（予約型乗合交通）の内容】

- 野田川地域：日本交通株式会社による乗合タクシーの運行
野田川地域の各エリア～市街地エリアを1日3.5往復、1運行300円、隔日運行
- 桑飼地域：桑飼地域運営協議会（地域住民主体）による自家用有償旅客運送の運行
桑飼エリア～市街地エリアを1日7便、1運行300円、平日運行（祝祭日・日曜日は運休）

（地域関係者との連携・協働）

行政のコーディネートのもと、複数の交通事業者・地域住民組織が連携を密にして取組を進めることで、利便性と効率性を両立した持続可能な旅客運送サービスのネットワークを構築することができる。また、商業施設と連携することにより「買い物」に重点を置いた「おでかけ環境」を整備し、まちの賑わい創出・住民の健康増進等に繋げることができる。

（地域課題解決への有効性）

少子高齢化・過疎化に伴うまちの賑わい創出・住民の健康増進等が課題となっているが、本事業は共創によるおでかけ環境の整備により外出機会の増加に繋げることを目的としており、課題解決に資する取組である。

また、交通事業者の運転手不足・行政の財政負担増加などが課題となっているが、本事業は輸送需要に応じた効率的な運行を目指すとともに、共通予約・配車システムの構築により地域全体で効率的な仕組みを構築する者で、課題解決に資する取組である。

取組の詳細

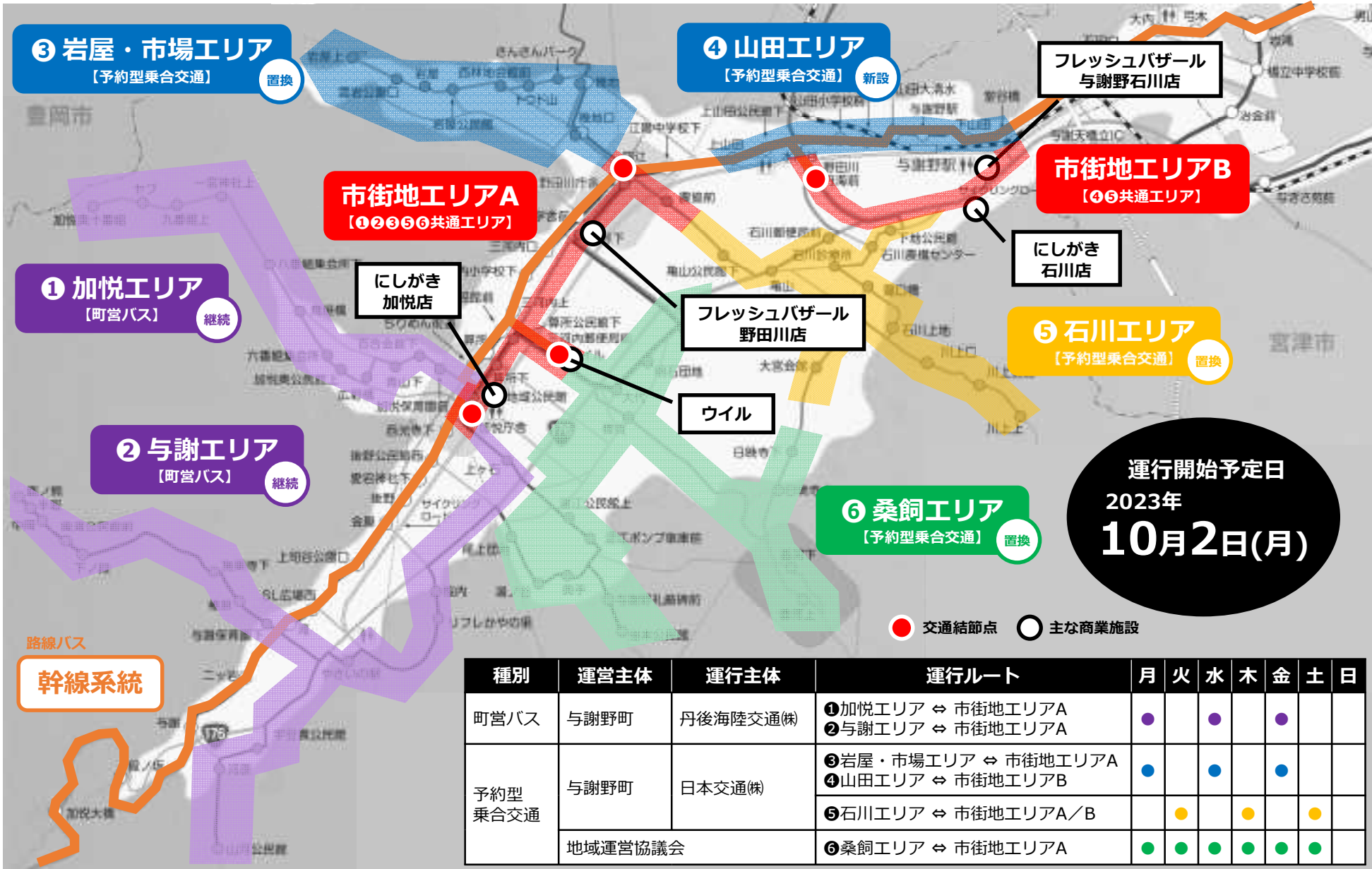
(事業のスケジュール)

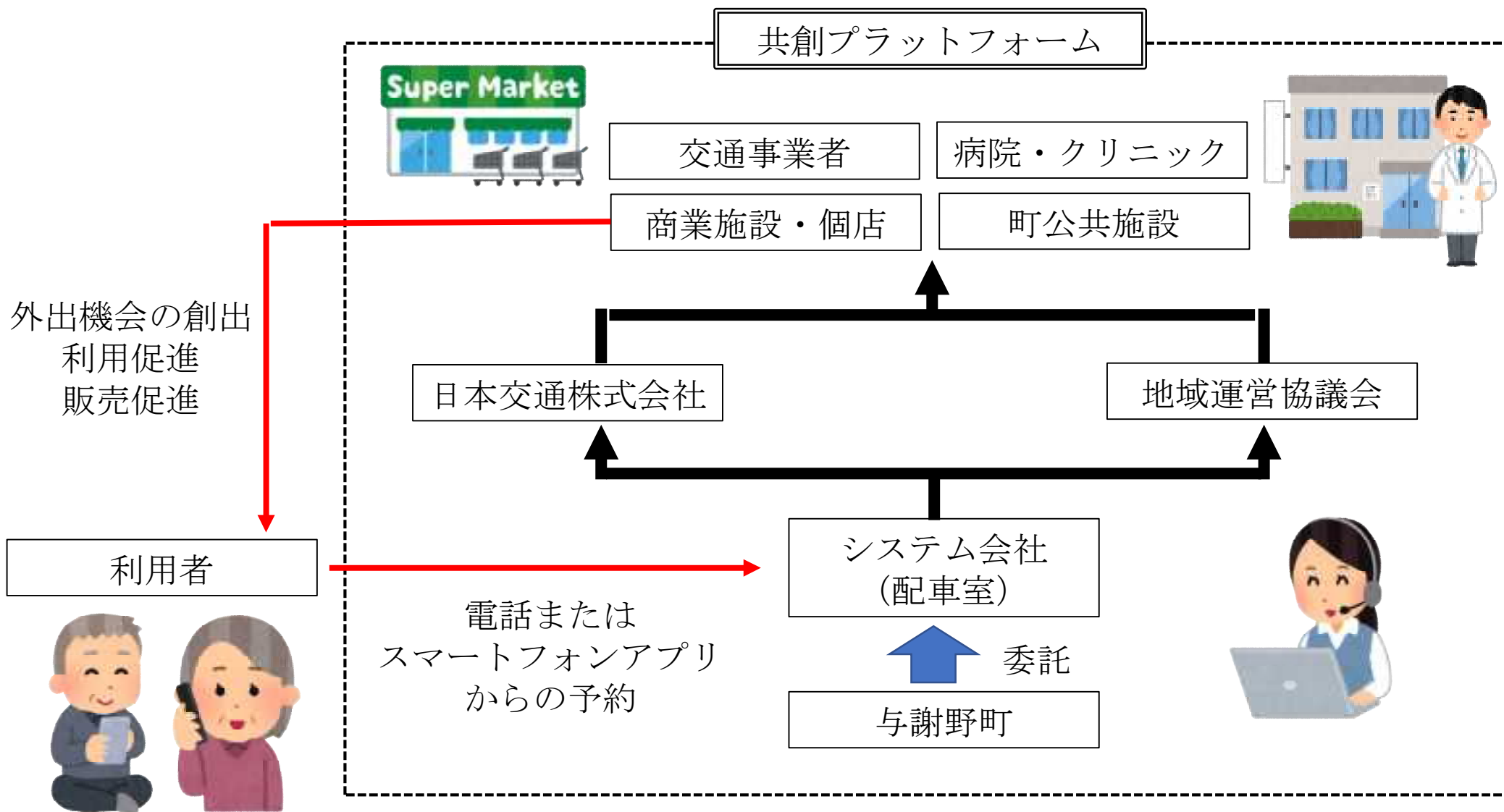
主体	いつ	何を
与謝野町	R5.6.20	共創モデル実証プロジェクト（国庫補助事業）申請期限
与謝野町	R5.6.30	地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請
与謝野町	～R5.7	商業施設との調整
日本交通（株）	R5.8 下旬	乗合旅客運送許可申請（２１条）
桑飼地域運営協議会	R5.8 下旬	交通空白地有償運送登録申請
与謝野町	～R5.9	予約・配車システムの運用準備完了
与謝野町	R5.10.2	フィーダー系統再編（運行開始日）
与謝野町	R5.12	地域内フィーダー系統確保維持計画変更認定申請
与謝野町	R6.1 下旬	変更認可申請・変更登録申請等（予約型乗合交通）
与謝野町	R6.2.28	実証運行終了（予約型乗合交通）
与謝野町	R6.3.1※	フィーダー系統再編（予約型乗合交通をフィーダー路線に変更）

事業実施終了後の取組予定
令和6年3月1日からフィーダー路線へ変更して運行続行（令和6年9月末まで実証運行）
令和6年4月からの運行は実証運行の内容を検証し、路線の再編も検討して改善を図る

運行エリア・運行ルート

別紙資料





サービス全体のイメージ

参考資料

利用者

事業者、協力団体

スマートフォン
アプリ予約



配車予約

配車室

デマンド交通

【日本交通株式会社】
岩屋・市場エリア
山田エリア
石川エリア
【地域運営組織】
桑飼エリア

目的地

交通結節点

商業施設・個店

病院・クリニック

町公共施設

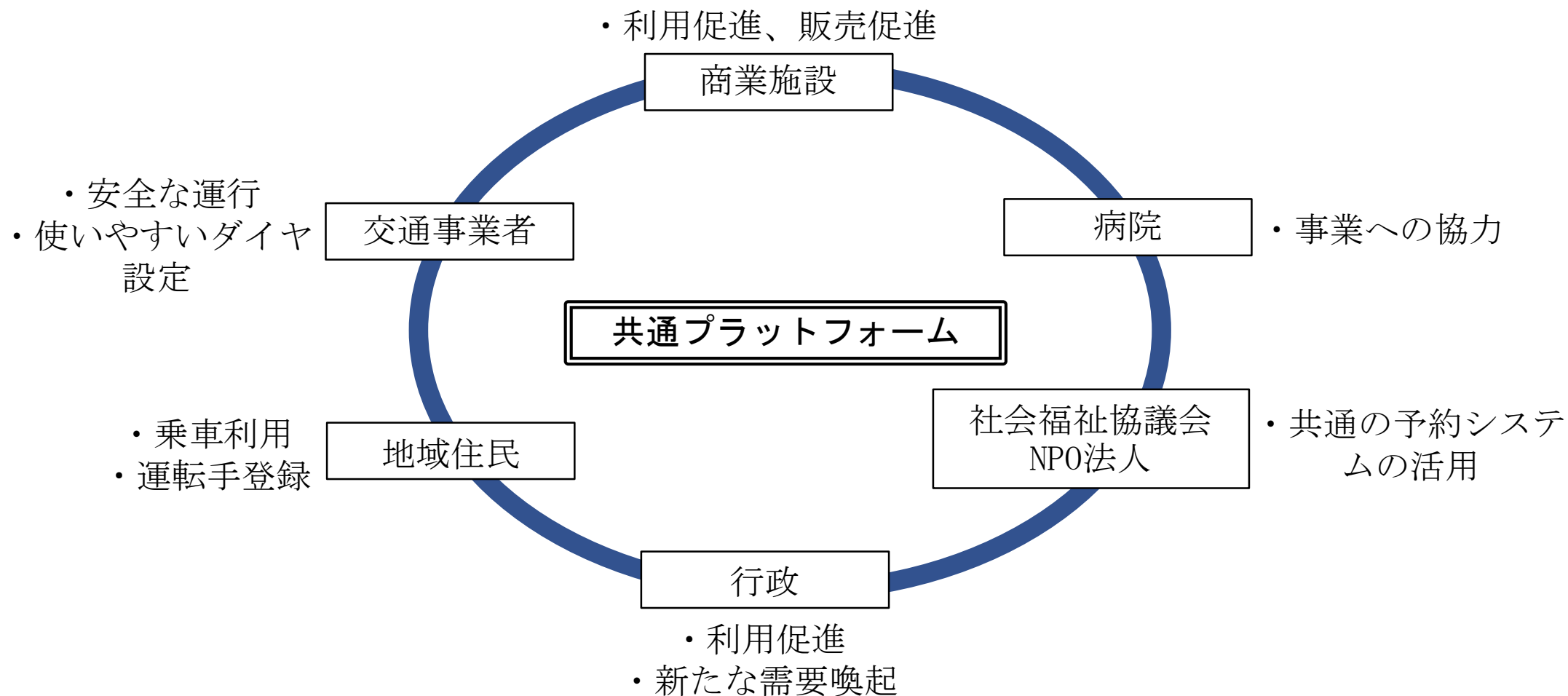


電話予約



Fresh
BAZAAR

加悦谷ショッピ
ングプラザウイ
ル



持続可能な公共交通体系の確保・維持